

平成28年度

# 学校関係者評価報告書

平成29年 4月11日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

## はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。平成29年度の学校運営や教育活動等についても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価活動を行い、その結果を平成28年度学校自己評価報告書として取りまとめました。

以上をもとに、平成29年3月27日に第2回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

平成29年 4月11日  
学校法人 東洋学園  
宮崎医療管理専門学校  
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	総務課長	井畑 信二	※欠席
医療法人社団 善仁会 総合健診センター	課長	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	※欠席
医療法人財団 高信会	総括課長	野中 恵子	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 平成29年 3月27日 (月) 14:00～

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 平成28年度自己点検・評価報告
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

### 3. 内容

※井畑委員、川添委員について、事前及び事後に関係資料を提示のうえ、ご意見等をいただいた。

#### 1) 事務局（学校長）挨拶

本年度、本委員会や関係団体等の協力もいただき、職業実践専門課程の認定を受けることができた。それをふまえ、今後とも、積極的に改善に努め、より良い学校運営に当たっていききたい旨の内容。

#### 2) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

・学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>

・平成28年度自己点検及び評価報告 <事務局：学校長>

#### 3) 各委員からの評価及び意見

川端委員長より、財務状況が学校運営や教育活動、教育環境等に与える影響は大きく、そこに焦点を絞り、そこから他の項目に関連づけるかたちで、評価及び意見を出していただきたい旨の話があった。

以下、学校自己評価報告書の評価項目（文部科学省が定めた「専修学校における学校評価ガイドライン」をふまえた10項目）に拠り、各委員の意見等をまとめた。

#### [教育理念・教育目標]

井畑委員

- ・教育理念や教育目標を教職員を含め、学生、保護者に対しても共有認識を行うことは、周りの方々に対し、学校全体の印象を高めることにつながる。

#### [学校運営]

井畑委員

- ・学科や役職等関係なく、横断的に関係会議を開催する等、組織的な運営に努力している。

#### [教育活動]

牧野委員

- ・本校医療情報管理科の特色の一つに診療情報管理士資格取得があるが、コーディングの導入との関連等もあり、その優位性を明確に伝える必要がある。 ※本校の資格取得率は高く、就労や現場評価の実績がある旨を補足説明

坂口委員

- ・高齢者施設が急増する中、特に特別養護老人ホームでは待遇の改善を進めている。ただ、国家試験が義務づけとなり、実務者研修（通信等）による資格取得等により、養成校のメリットが分かりにくくなっている。ただ、現場としては養成校から採用したいとの考えもあり、引き続き本

校も、より良い人材の育成、特色ある教育にあたってほしい。

- ・業務独占でない介護福祉士は、加算上のメリットも大きいと言えない。  
※国家試験の義務づけに伴い、養成校としても業務独占化への訴え等を積極的に進めていく必要がある。

#### [学修成果]

井畑委員

- ・OB等とのつながりを密接に行い、大切にしていることは素晴らしく、特に福祉系、医療系において、その関わりは必要と考える。

#### [学生支援]

牧野委員

- ・求人（票）に関連し、資格手当の有無や給与の表示（賞与、年収等）等について正しく伝えてほしい。
- ・奨学金制度の利用状況は？ ※本校では7割の学生が利用している。県内の看護師求人について、人材確保のため各事業所が奨学金制度を設け、柔軟に対応している。 ※本校でも、家族関係者や特待生の減免等の手立てを取っているが、他校でも学費の値引き等もあり、差別化を図りにくい状況にある。

野中委員

- ・介護現場では、新採者向けのプログラム終了前に辞める等、離職の問題がある。待遇や就労前のイメージとのギャップ等の影響があると思われる。介護に対するマイナスイメージをできるだけ払拭できるよう学校と現場で取り組んでいく必要がある。
- ・介護職としてプライドを持ってもらうことが、離職率を下げることにもつながると考え、職能団体による研修会に参加できるよう努めている。ただ、人材不足等により勤務時間内での研修に出せない場合もあり、ナイトセミナー等で対応することもある。 ※本校でも現場の取組を伝える必要がある。

#### [教育環境]

川添委員

- ・施設、設備の設置や補修等にあたり、行政等補助（金）の情報を得て活用する等、関係団体の取組も参考にしているかどうか。

#### [学生の受け入れ募集]

牧野委員

- ・病院ではクラークと医事業務の2分化が見られ、必要とされる資格（職能）も職域によって異なる。キャリアパスや優位性（加算等）をふまえた資格取得について、「見える化」を意識した取組を行ってはどうか。
- ・就労形態の多様化とも関連し、病院だけでなく、クリニックに就職できるスキルを身につけられることをアピールすることも必要。
- ・オープンキャンパスについて、多くの回数を設定しているが、各回の参

加者数が少ないとマイナスイメージになるのでは。

※各科の内容の工夫や効果的な広報等について検討し、特に入試前オープンキャンパスの参加者数を増やしたい。

- ・保育士の将来の展望、ライフプランについて、キャリアパスもふまえ、実績を具体的に提示できるとよい。特に男子学生の確保からも必要。

川端委員

- ・学校（教育）と現場（就労）のマッチングを図っていくために、現場の声（実際）をセミナーやガイダンス等で伝えていきたい。それが本校の学生募集のメリットにもなるのではないか。

[社会貢献・地域貢献]

川添委員

- ・空き教室について、地域の関係団体に積極的に活用してもらうことで、連携、交流につなげていってはどうか。

5) まとめ

川端委員長

- ・本委員会以外の場でも、本校評価に係る課題について引き続き検討し、随時、現場の意見としてフィードバックすることで、課題の改善につなげていきたい。

※ [財務] [法令等の遵守] について直接的な意見等なかったが、学校運営や教育環境等の充実、人材育成による社会貢献において財務の安定は不可欠であり、そのことに係る事項についても、さらに各委員や関連団体との連携、協力を図っていきたい。

以上